



VOICE

読者のページ

2025年3月号(53巻3号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

これだけは押さえておきたい 超音波検査のパニック所見

- 超音波検査のパニック所見について、「こういう内容が知りたかった!」という待望の特集記事でした。何がパニック所見に該当するかという点や、報告の難しさなどが大変参考になりました。 **HY (福岡県)**
- 対話形式で読みやすく、検査時の工夫や気をつける点など、実践的な知識が得られました。 **SS (奈良県)**
- パニック所見に遭遇した際のワークフローが、特に参考になりました。当院にはこのような明文規定がないので、早速活かしたいと思います。 **HH (兵庫県)**
- 超音波検査のパニック所見にガイドラインがあることをはじめて知り、勉強になりました。 **YO (岐阜県)**

MT Seminar

5類に移行した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)にどう対処するか?

- WHOによる「空気を介した感染」の定義、入院前のCOVID-19スクリーニングなどの情報を得ることができて良かったです。 **YT (東京都)**
- COVID-19はインフルエンザより感染力が強く、感染予防が大切だと感じました。無症候例がいつの間にか院内に紛れ込むことがあり、気をつけていても侵入阻止は難しいと日々感じています。 **やもり (山口県)**
- 5類移行以来は気に留めることも少なくなりましたが、とても厄介なウイルスですね。特に身体の弱い高齢者にとっては危険なので、引き続き対策を徹底して感染リスク低減に努めたいと思います。 **MK (千葉県)**

臨床検査 Q&A

尿定性検査と尿沈渣鏡検が 乖離する点について知りたいです。

- 赤血球、白血球、細菌からのアプローチが明快で、回答を読んで「なるほど!」と納得です。とてもわかりやすく、疑問が氷解しました。 **ビューティ (新潟県)**
- ルーチンで尿沈渣を目視する際に必ず頭に入れておきたいポイントが、わかりやすく解説されていました。大変良かったです。 **SI (長崎県)**
- 尿定性検査と尿沈渣の乖離の原因は、一朝一夕に原理を理解して説明できるものではないと感じます。記事を読み込み、問い合わせがあればしっかりと答えられるように備えたいと思います。 **mk (滋賀県)**

クライテリア確立のための細胞所見 —鑑別疾患と重要所見

呼吸器領域

- 非常に鑑別の難しいもの同士の対比で、これからの鏡検に活かせそうです。 **コウベノサウナー (兵庫県)**
- 本記事の呼吸器領域で扱われた比較群は、細胞診ガイドラインや肺癌取扱い規約に記載はあるものの、細胞像までは詳細に提示されていません。非常に参考になりました。 **HO (京都府)**
- 反応性再生性気管支上皮細胞にいつも悩むので、勉強になりました。喀痰細胞診についても取り上げてほしいです。 **MT (京都府)**
- 間違えやすい症例が対比する形で掲載されていて、知識の整理に役立ちました。 **まるねこ (兵庫県)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています!

